



生物多様性ふじ戦略

[2020-2030]

— 未来へつなぐ 富士市の自然といきもの —



生物多様性とは？

富士市の特産物と生物多様性

富士市には、お茶やしらす、富士ヒノキ、落花生、紙製品などの特産物があります。これらの特産物は富士山をはじめとする豊かな自然の中で育まれてきた「生物多様性のめぐみ」です。私たちの産業や暮らしは、このような生物多様性のめぐみによって成り立っています。

▶ 生物多様性の定義

生物多様性とは、「いきものたちの豊かな個性とつながり」のことです。全てのいきものは食べる、食べられる関係（食物連鎖）や共生の関係でつながっています。



お茶



田子の浦しらす



富士ヒノキ



ゆで落花生



紙製品

生物多様性の3つの視点

生物多様性には「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」という3つの視点があります。

生態系の多様性

森林、河川、海洋といった様々な自然環境があり、それぞれの環境にいろいろないきものがいることです。



里地里山



河川



海岸

富士市の生態系は、「奥山」「里地里山」「田園・湿地」「市街地」「河川・湧水地」「海岸・海洋」の大きく6つに区分することができます。

種の多様性

微生物から動植物までいろいろないきものがいることです。



ニホンジカ



コクワガタ



モチツツジ

富士市では、植物 2,656 種、動物 3,272 種が確認されています。

遺伝子の多様性

同じ種でも遺伝子に違いがあることで、形や模様、病気にかかりにくい個体や厳しい環境に強い個体など、様々な個体があることです。



アサリの貝殻の模様の違いは遺伝子の違いによるものです。



生物多様性のめぐみ「生態系サービス」

私たちの暮らしは、食料や水、気候の安定など、多様ないきものが関わりあう生態系から得ることができる「めぐみ」によって支えられています。このめぐみを「生態系サービス」といいます。

暮らしの基礎となる 「供給サービス」

食料や木材などの供給源となります



自然に守られる 私たちの暮らし 「調整サービス」

災害防止や水質浄化などに寄与します



文化の多様性を育む 「文化的サービス」

文化面で地域社会の発展に役立ちます



生きるための基礎となる 「基盤サービス」

水や栄養の循環は地球環境を支えています

生物多様性に迫る4つの危機

現在、生物多様性は4つの大きな危機にさらされています。

危機1 開発など人間活動による危機



危機2 自然に対する働きかけの縮小による危機



危機3 人により持ち込まれたものによる危機



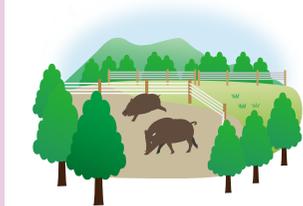
危機4 地球環境の変化による危機



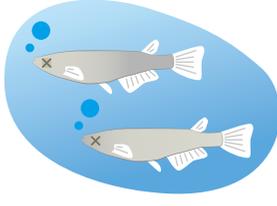
土砂崩れ



野生鳥獣による被害



地域固有の生物に影響



洪水発生による被害



富士市の生物多様性

実はこんなにすごい!

富士市の生物多様性の 特徴

5,900 種を超える いきものがある

本市では、植物・動物合わせて5,900種(静岡県内の野生生物のうち約4割)を超えるいきものが確認されています。



植物の垂直分布が 観察できる

富士山では、標高によって生育する植物の種類が移り変わる典型的な「垂直分布」を観察することができます。



豊富な湧水がまちなかや 海底にある

富士山の雪解け水などを起源とする湧水がまちなかや海底にあり、多くのいきもののオアシスとなっています。



絶滅危惧種の サワトランオが生育する

浮島ヶ原自然公園のサワトランオは、全国随一の群生地といわれ、県内ではここでしかみられません。



しかし、こんな問題も!

富士市の生物多様性の 課題

「生物多様性」という言葉が まだ浸透していない

「生物多様性」という言葉やその意味は、一般にはまだ浸透しておらず、普及啓発していくことが重要です。



野生鳥獣による 被害が増えている

ニホンジカやニホンイノシシなど、野生鳥獣による農林業や自然生態系への影響が深刻化しています。



外来種が 侵入している

本市では外来種が増加しており、アライグマなどの特定外来生物も確認されているため、対策が必要です。



海洋ごみによる 影響が心配されている

捨てられたプラスチックなどの海洋ごみによる生態系への影響が懸念されています。



戦略の全体像

生物多様性のめぐみを将来の世代へ継承するため、「生物多様性ふじ戦略」を策定しました。2050年の将来像を展望し、2030年までの目標達成に向けて取り組むべき施策を定めています。

将来像
(2050年)

いきものと深くつながり、めぐみあふれるまち ふじ

2030年
までの
目標

生物多様性への理解の浸透と未来へつなぐ取組みの推進

- 基本方針 1 多様な生物について知る
- 基本方針 2 多様な生物や生態系をまもる
- 基本方針 3 生物多様性に配慮した社会をつくる



駿河湾上空から見た富士市



須津川溪谷



重点プロジェクト

将来像（2050年における富士市の姿）及び2030年までの目標の実現及び達成を目指すため、特に重点的に実施していく取組みを「重点プロジェクト」として位置付けて推進していきます。

- いきもの調査プロジェクト**
 - 市民や市民団体などと連携した「いきもの調査」の実施
 - 調査結果の公表や保全対策の検討活用
- 生態系保全プロジェクト**
 - 外来種の防除（富士山、浮島ヶ原）
 - アカウミガメの産卵場所の巡視・海岸清掃（富士海岸）
- 生物多様性啓発プロジェクト**
 - シンポジウムなどの開催による啓発と人材育成
 - 「富士市生物多様性サポーター登録制度」の創設



重点地域

本戦略の重点地域として奥山の「富士山（国道469号より北側）」及び湿地の「浮島ヶ原（浮島ヶ原自然公園内）」を選定し、取組みを推進していきます。

- 富士山**
 - 重要種を保護・保全
 - 外来種の調査・防除
 - 広葉樹による森づくり
 - 産業資源や自然資源を生物多様性のめぐみとして啓発
- 浮島ヶ原**
 - 浮島ヶ原自然公園の保全再生の取組の検討や自然観察会の実施
 - 外来種対策



市民・事業者のみなさんへ

本戦略を推進し、2030年や2050年までの将来像を実現していくためには、市民や事業者のみなさんの協力と実践が必要です。生物多様性のためにできることを考え、行動しましょう。

家庭でできる取組事例

- 1 生物多様性の重要性について認識します



- 2 緑化や環境負荷の低減に努めます



- 3 生物多様性に配慮した商品やサービスを選択します



- 4 外来種を含む飼育生物などを適切に取り扱います



- 5 調査や保全活動などへ積極的に参加します



- 6 市などが行う生物多様性に配慮した取組みに協力します



事業所でできる取組事例

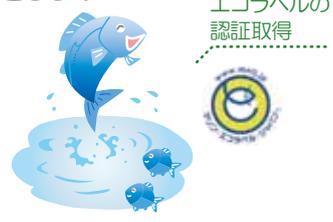
- 1 経済活動が生物多様性に及ぼす影響について認識します



- 2 生物多様性に関する社員教育を実施します



- 3 生物多様性に配慮した原材料の調達や生物資源の利用をします



- 4 生産・加工・販売・輸送時において生物多様性へ配慮します



- 5 土地利用・開発事業時において生物多様性へ配慮します



- 6 保有地の管理について生物多様性へ配慮します



生物多様性ふじ戦略

概要版

2020年(令和2年)3月

富士市環境部環境保全課 〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地
TEL 0545-55-2773 URL : <https://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

※「生物多様性ふじ戦略」の本編は、市ウェブサイトや市役所、市立図書館などをご覧ください。